



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2013.04.19 No.00746

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>
事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 04.19】
Rotary の友から
雑誌・広報委員会

次回のプログラム

【通常例会 04.29】
地区大会
ノバホール(つくば市)

4月の主な行事：ロータリー雑誌月間

第745回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長
ロータリーソング：奉仕の理想
ゲ ス ト：なし
ビ ジ タ ー：なし

会長報告：長友芳郎



■会長報告
先週は皆さんお忙しい中観桜会に参加頂きました。準備頂いた横山さんご苦労様でした。皆さん満足して頂いた事と思います。

幹事報告：川上 勉



■ハイライトよねやま157号をクラブホームページにアップしました。
■ガバナー事務所から「地区交通費支給」：地区委員には一律2,000円が支給されているが各クラブの委員には支給されていないので不公平感があるという意見。

「ガバナー及びクラブへの支援金」ガバナー月信9月号でノミニ選出にあたり、地区会員が人頭分担金を支給してはという意見があり、アンケートが来ました。

■例会終了後定例理事会を開催します。関係者の方はお残り下さい。

■規定審議会

ロータリーの立法機関である規定審議会は、3年毎に会合を開き、クラブ、地区大会、グレート・ブリテンおよびアイルランド内のRI審議会や大会、ならびにRI理事会から提出された制定案と決議案を審議し、票決します。規

定審議会自体も法案を提出することがあります。

3年に一度開かれる規定審議会は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。理事会が国際ロータリーの方針を決定する一方、規定審議会ではロータリークラブが組織の運営に関して発言する機会が与えられます。審議会には地区からの代表議員が派遣され、ここで法案の審議が行われます。全クラブと地区には審議会へ立法案を提出する権利があり、審議会の決議がロータリーの最も重要な活動に影響を与えることもあります。1989年規定審議会の決議によってロータリーに初めて女性が入会し、1986年審議会の決議からは「ポリオ・プラス」が誕生しました。

規定審議会は、ロータリー世界の各地から集まる500名以上の代表議員によって構成されます。投票権を有する議員には、各ロータリー地区のクラブから1名ずつ選出された代表議員が含まれます。投票権を有しない議員は、規定審議会の議長および副議長、RI会長、RI理事会のメンバーと元RI会長です。

■出席状況

会 員	16 名	出席率	75.00 %
出 席 者	9 名		
出 席 免 除 者	2 名	Make-up	3 名
定款第9条3節a	1 名		

■ニコニコボックス (目標額 600,000円)

本日 4 件 5,000 円 (本年度累計 347,000 円)

荒木会員：やゝ寒衣ながら、好天の田園ドライブを楽しみつゝ来龍しました。

川上会員：やっとグアムガ動き始めました。

横澤会員：花冷えですね！それともふところが寒いせいでしょうか？ 寒い！

横山会員：楽しい、いや、愉快的観桜会でした。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに
城出 SAA TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。

本日のプログラム

「ロータリーの哲学」

クラブ会長：長友芳郎



ロータリー哲学という
題を横山さんから頂いた
がロータリーの辞書であ
る先輩を前にそれを語る
ことは畏れ多い事である。
ロータリーの会員は百人

百様の立派な信条を持ちここに集っている。それは自己の鍛錬であったり、社会貢献であったり、親睦であったり様々であるが、私はどれが正しいとか言うつもりもないし、浅薄な知識の元にその資格も持ち合わせていない。ましてや宗教の擁護や批判をするつもりもない。ただ、ロータリーの Service なるものの起源と何を意味しているのか知りたいだけである事をご承知おきたい。そして浅薄な知識ゆえの間違ひはご指摘頂きたい。

ロータリーの目的は綱領推進にある。

有益な事業の基礎として奉仕理念(Ideal of Service)を鼓吹育成すること。・・・とある。

この目標を表現する合言葉としてシェルドンとコリンズ由来の二つのモットーを掲げている。

現在二つのモットーを採用しているが、その起源を辿って見たい。

創成期のロータリークラブは会員の利益の為の利己的クラブと批判されだし、クラブが社会的な存在意義を持つために Service の理念をその信条に取り入れた。

1911 年年次大会で二つのモットーが発表されロータリアンに受け入れられどちらも同じ意味のものとして使用された。

Service 理念をロータリーに持ち込んだのはシェルドンが最初で 1910 の年次大会で発表した。この理念は自分が学んだミシガン大学の理論であり 1902 年に自分が創設した販売学を教えるシェルドンスクールの理念でもある。彼は Service が「自然の法則」の学問であり宗教ではないという事を強調している。

職業奉仕はロータリーの金看板(モットー)と云われるが、シェルドンの Service 理念に由来する。綱領にも有益な事業の基礎としての Service というのが職業奉仕が金看板である根拠とされる。

シェルドンの考えをその著書から引用すると

WHAT IS PROFIT? 1902 Successful Selling Vol.1 P.38 の要約

Successful Selling をその原則に従って実践する者はあらゆる点で「利益を得る」。

「利益」という語は、精神的な価値ならびに経済増加を含む。

多くの金銭を得られるが、さらに金銭以上のものを得る。

利益を配分する自然の法則との調和においてこれをなすのである。

一方ミネアポリスクラブの会長であったコリンズは 1911 年の年次大会で Service,not Self. を非公式に発表した。Service above Self. の原型である。

コリンズのモットーは宗教の黄金律に由来する。

根拠はクラブ創設時の理念が黄金律であるからである。

このクラブの黄金律に関する記述は当時の The Rotarian 誌などに見受けられる。

その例を挙げてみると

・「ロータリーは、利他主義の精神において経済的な目的を遂行しようと努力する、職業人の組織です。それは、キリスト教の教えること、および社会正義のラインに沿ったビジネスの行為に影響を及ぼそうと努力します。」サンフランシスコ大会のグレン・ミード前会長の演説
・彼らの理念は、現代の商業の条件を満たすためのサービスという言葉に翻訳された**黄金律**であった。ミネアポリス RC 創立 25 周年記念誌 P13

次に Profit について考えたい。

黄金律と Profit は基本的に相反する。

シェルドンのモットーにはコリンズのそれと違い Profit という単語が含まれる。

シェルドンは販売学の理論であるから実利を求めるのである。前述の通りである。

Profit は卑しいという理由で RIBI からシェルドンのモットー廃止案が浮上した。

RIBI 前身 BARC の 1914 年設立当時のポスターには Rotay International の文字が入ったロゴの両脇に Service not Self の言葉だけが、国際ロータリー連合から承認されたと記述された写真があるが、その考え方が窺い知れるものではないだろうか。

職業奉仕の理念の研鑽がしりすぼみになっていったのは、理念の実践を重んじて四大奉仕の道筋を採用してからだと云われるが、それを考案したのは RIBI である。

現在 RI は Service above Self を第一モットーにし人道奉仕を重んじる。

ポリオ撲滅がロータリーの金看板のような印象も受けるのだが。

職業奉仕がロータリーの金看板であるというのがロータリアン以外の人から「それはロータリーでどのような事を指しているのですか？どんな事をしているのですか？」と問われた時に RI とのギャップを思うと躊躇するのである。

